New

苦手を克服！！　得意を伸ばす！！
これまでにない英語学習ソフトウェア

RISE English Course 英語カン

「自然な方法」は，とても不自然！！

－2012年2月販売開始－

英検５級～準２級程度

外国語学習ではいまだに，「子ども達が母国語を身につけるように，自然な方法で…」などと言われます。しかしどんなにがんばっても，外国語にふれる時間は母国語の５％程度*注1 にしかなりません。いわゆる「自然な方法」で，中学・高校の６年間に５歳児程度の英語を身につけようとすれば，毎日９時間以上*注2 の学習が必要になります。

弱みを補い，強みを知る！！

ではどうすれば，時間不足を補えるでしょうか。それには幼い子ども達にはない「強み」を活かすことです。耳からの情報だけでなく目からの情報を上手に使えるようにすること，つまり「きちんと読めるようにする」ことです。

私達が運営する不登校の子ども達のクラスでは，英語の授業は週に２時間しかありません。それでも毎年，英語検定合格者を輩出しています。苦手を克服して志望高校に合格，難関国立大学への合格を果たした生徒もいます。

特にリスニング力には教室を訪れた誰もが驚かれますが，繰り返し行っているのは「耳と目を使って聞き取る練習」，そして「文脈や場面など様々な情報を総合して，類推を働かせながら読む練習」です。

音に対するセンスを養い、語彙獲得能力を高める

苦手にも，日本人ならではの傾向があります。その一つが「音韻的気づき」の不足であり、「ｈ＋at＝hat」「hit－ｈ＝it」といった「音韻操作への不慣れ」です。

３０年近くにわたり子ども達と向き合いそのつまずきを見つめてきた経験と，最新の研究成果に基づく「英語カン」には，「外国語に対するセンス（勘／感）」をみがき，「真に自然な方法」で「自ら学び取る力」，「外国語学習ストラテジー」を伸長するための工夫がこらされています。

注１　母国話者が誕生から１８歳までに母語にふれる時間に対し、週４時間の授業を含め中学高校の６年間毎日１時間ずつ英語にふれたと仮定。
注２　母国話者が誕生から5歳までに母語にふれる時間を、３６５日×６年で割った数値。　参考文献　竹蓋幸生「ヒアリングの行動科学」研究社

各ステージの練習内容

Stage１　音の足し算（基礎編）

Act１　子音字の入れ替え練習
Act２　二重子音字の練習
Act３　連続する子音字の練習
Act４　単母音字の入れ替え練習

「pat ⇒ bat ⇒ bad ⇒ dad ⇒ dab ⇒ tab ⇒ tap」など３文字の語から練習を始め，「what ⇒ that ⇒ chat」「sing ⇒ sting ⇒ string」「bag ⇒ bug ⇒ bog ⇒ big ⇒ beg」など「音の足し算」の基礎を身につけます。

Stage２　音の足し算（発展編）

「音の足し算」がスムーズにできるようになれば，どんな単語でもごくわずかな練習で，読み書きできるようになります。

Act１　サイレント e を含む語の練習
Act２　二重母音字を含む語の練習
Act３　発音に注意したい母音字を含む語の練習
Act４　母音字の入れ替え練習

「us ⇒ use」「her ⇒ here」「hope ⇒ hose ⇒ chose」「air ⇒ hair ⇒ chair」などの練習を通して，母音字の音に習熟。日本人が間違いやすい「rise ⇒ raise」「short ⇒ shout」など母音字の入れ替え，「shout ⇒ south」など文字列を組み替えて他の語を作る練習を行います。

Stage３　語感・語のルーツで覚える英単語

「音に対する気づき」「単語を分析的にとらえる力」が，語彙獲得ストラテジーを向上させ，「読解力」を伸長します。

Act１　語感で覚える英単語

「dash：（ダッと）走る」に対し，「dam」と唇を閉じれば「（川などを）せき止める」。「hop」は「ホッ!」,「jump」は「-um-と力をためて跳ぶ」など，「音に対する気づき」をもたらします。

Act２　語のルーツで覚える英単語

「unit：単元」の「uni-」は「１つの」，「uni-form」は「１つの形」。「portable（持ち運びできる）⇒ export（外へ運ぶ → 輸出）⇒ important（中に運ぶ → 重要な）などを練習し，「単語を分析的にとらえる力」を養います。

✔ たとえば「Stage１は１年生で，Stage２は２年生で！！」
✔ 授業の前後のわずかな時間 や 自習時間 を生かして，無理なく練習できる

○サンプル・詳細は web ページ http://rise.gr.jp/ で

Stage４　リズムとパターンで覚える不規則動詞・基本例文

Act１　リズムとパターンで覚える不規則動詞
Act２　基本例文・適語選択練習
Act３　基本例文・並べ替え練習

A-B-C型の過去分詞は「-n」で終わるものが多いなど，不規則動詞にもパターンがあります。それを軽快なリズムに乗せて練習。未習得語もイラストを見るなどして類推を働かせながら読み取ります。

✔ ここまでの練習を生かし，類推を働かせて読む力を伸長！
✔ 不規則動詞を練習しながら，文法にも強くなる！

不規則動詞練習用プリント（A3判両面を一部抜粋・縮小）

＊このプリントは，別売りとなります。プリントのみのご購入もできます。

リズムとパターンで覚える不規則動詞　　＊リズムにのせて歌うようにして覚えよう♪

A-B-C型　Group 1							
1	break	-	broke	-	broken	･･･	My son dropped my computer and (　　) it.
2	speak	-	spoke	-	spoken	･･･	You don't have to (　　) perfect English.
3	steal	-	stole	-	stolen	･･･	My bike was (　　) yesterday.
4	freeze	-	froze	-	frozen	･･･	We often enjoy fishing on the (　　) lake during the winter.
5	choose	-	chose	-	chosen	･･･	(　　) the color you like the best.
6	wake	-	woke	-	woken	･･･	What time do you usually (　　) up in the morning?
A-B-C型　Group 2							
7	drive	-	drove	-	driven	･･･	They are too young to (　　) a car.
8	ride	-	rode	-	ridden	･･･	Have you ever learned how to (　　) a horse?
9	rise	-	rose	-	risen	･･･	The sun (　　) in the east and sets in the west.
10	write	-	wrote	-	written	･･･	My mother bought me a book (　　) in easy English.

A-B-C型　Group 1
1 息子がコンピュータを落として(××)してしまった。
2 完璧な英語を(××)さなくてもいいんだよ。
3 昨日、自転車が(×××)まれてしまった。
4 冬の間、私達はよく(××)った湖の上で釣りを楽しみます。
5 一番好きな色を(××)んでください。
6 ふつうは朝何時に(××)るの？

A-B-C型　Group 2
7 彼らは若すぎて自動車の(××××)はできません。
8 今までに、馬の(××)方を学んだことはありますか。
9 太陽は東に(××)り、西に沈む。
10 母は私に簡単な英語で(××)れた本を買ってくれた。

≪このプリントの上手な使い方≫
① 「One, two, three, four！」で初め，体を動かしながらリズムに乗せて練習します。変化形を忘れてしまったときにも、心の中で「One, two, three, four！」とリズムを取ってみてください。
② 単語の意味を忘れてしまったときもすぐに辞書を引かず、例文→絵→日本語訳と順番に見て思い出せるようにします。
③ 練習の際には，プリントを４つ折りにして、不必要な部分は見ないようにしましょう。
④ 例文には，中学で習う重要文法のほとんどが含まれています。繰り返し読んで，練習しましょう。
⑤ （××）内の×の数は，そこに入るひらがなの文字数を表しています。ただし答えは１つとは限りません。